

Kazuya is a high school student. His grandmother lives with his family.

She is seventy-two years old. She has a bad leg, so she walks with a cane.
脚(あし)が悪い ステッキ, つえ

One day, when Kazuya came home from school, his grandmother was leaving home.

“Where are you going, Grandma?” he asked. “I’ll go to Chuo Hospital,” she said.
おばあちゃん(家庭内での呼び方)

“My friend Ms. Saito is sick. She is going to stay there for a week.”
病気の

Kazuya knows Ms. Saito. She is very kind to him.

He said, “I’ll go with you.” His grandmother said, “Thank you, Kazuya.

She will be happy.”

They took a bus to the hospital.

When they got on the bus, they didn’t find any vacant seats.
空いている

Then, a man stood up. “Please take a seat,” he said to Kazuya’s grandmother.
stand の過去形 座席に座る

She said to him, “Thank you very much,” and took the seat.

Kazuya also said, “Thank you,” and the man said, “You’re welcome.”

In the evening, Kazuya talked about the man to his mother.

“I was very happy when the man gave his seat to Grandma,” he said.

His mother said, “I’m happy, too.

When there are people in need around us, we should help them.”
(助けを) 必要として ~すべきである 助ける

“I think it is right,” Kazuya said.

His grandmother was listening to them with a smile.

かずやは高校生です。彼のおばあさんはかずやの家族と一緒に住んでいます。

彼女は72歳です。脚が悪いので、つえを使って歩いています。

ある日、かずやが学校から家に帰ったとき、おばあさんが家を出るところでした。

「どこへ行くの、おばあちゃん？」とかずやはたずねました。「中央病院へ行くのよ。」とおばあさんは答えました。

「私の友達のさいとうさんが病気の。1週間入院する予定なのよ。」

かずやはさいとうさんを知っています。さいとうさんは彼にとっても優しいです。

かずやは「ぼくも一緒に行くよ」と言いました。おばあさんは言いました。「ありがとう、かずや。さいとうさんは喜ぶわ。」

2人は病院までバスに乗りました。

2人がバスに乗ったとき、空いている席は見つかりませんでした。

そのとき、男性が立ち上がりました。「どうぞお座りください。」男性はかずやのおばあさんに言いました。

おばあさんは「本当にありがとう。」と男性に言って、座席に座りました。

かずやもまた言いました。「ありがとう。」そしてその男性が言いました。「どういたしまして。」

夕方、かずやはお母さんにその男性について話しました。

「男性がおばあちゃんに席を譲ったとき、ぼくはとてもうれしかったよ。」とかずやは言いました。

お母さんは言いました。「私もうれしいわ。」

周りに助けを必要としている人たちがいるとき、私たちは彼らを助けるべきだわ。」

「ぼくもその通りだと思うよ。」とかずやは言いました。

おばあさんは笑顔でそれを聞いていました。